

学びたいキミを応援します。
みんなに知ってほしい

沖縄県 県立学校版(R 6.7)
大切なお知らせです。必ず保護者に渡してください。

高校生への支援

返還不要の支援です。それぞれ申込みが必要です。

① 高等学校等就学支援金

県立高校では就学支援金を受給すると、**授業料が実質無料**になります
沖縄県の公立高校では約9割の生徒が利用しています

制度の詳細はこちら



世帯年収約910万円未満の世帯(※注)が対象

対象校：高等学校、高等専門学校（1～3年生）、専修学校（高等課程）など
◎所得制限で対象外となる場合でも保護者等の負傷・疾病による療養のために勤務できないこと、その他自己の責めに帰することのできない離職等、家計急変制度の要件を満たす場合は対象となる可能性があります。

② 高校生等奨学給付金

教科書費・教材費など、**授業料以外の教育費支援**のしくみです

制度の詳細はこちら



生活保護世帯、住民税所得割非課税世帯が対象

対象校：高等学校等就学支援金の対象校、高校の専攻科

③ バス・モノレール通学費支援

家から学校までの通学に係る**バス・モノレールを無料で利用出来る**しくみです

制度の詳細はこちら



住民税所得割非課税世帯、児童扶養手当受給世帯 母子及び父子家庭等医療費助成受給世帯が対象

対象校：高等学校（全日制、定時制課程）、高等専門学校（1～3年生）

④ 遠距離等通学費補助金

遠距離等で通学費が高額となる者に対して**通学費の一部を補助**するしくみです

制度の詳細はこちら



世帯年収目安590万円未満(※注)かつ 通学定期券及び通学回数券の利用額が1ヶ月あたり15,000円を超える者が対象

対象校：高等学校（全日制、定時制課程）、高等専門学校（1～3年生）

◎申請時に通学定期券・通学回数券の領収書原本や
通学回数券の表紙の原本、定期券の券面（裏表）の写しの提出が必要です。

※注：世帯年収目安は、4人家族（両親・子ども2人）の場合の目安です。



各支援の申込みは、進学先の学校等へ

入学時の4月など手続きが必要な時期に案内があります。



お問合せは、進学先の学校または
沖縄県教育庁教育支援課（098-866-2711）へ

その他支援制度はこちら



県内の私立学校でも同様の支援が受けることができます。お問合せは、沖縄県総務私学課（098-866-2074）へ

お金の心配なく大学や専門学校で学びたい生徒のみなさんへ



2020年4月から新制度がスタートしています!

対象 住民税非課税世帯・準ずる世帯の学生

支援内容 大学・短大・高専(4~5年)・専門学校の

授業料・入学金の
免除/減額 + 給付型奨学金の
支給

返済不要!

申請期間 高校3年の4月以降(学校ごとに異なります)

※進学後に大学等で申し込むこともできます。

- 授業料等減免と給付型奨学金(生活費)を併せた手厚い支援が受けられます。【高等教育の修学支援】公式キャラクター「まねこ先生(左)とまなびーニャ(右)」
- 高校等ごとの推薦枠(人数上限)はありません。
- 高校等の成績だけで否定的な判断をせず、レポートや面談により本人の学修意欲や進学目的等を確認します。
- 進学先の大学等では、しっかり学習することが求められます。(成績次第で警告や支援の打切りもあります。)

(注) 高校等には、高等専門学校(3年次)、中等教育学校の後期課程、特別支援学校の高等部、専修学校の高等課程を含みます。

修学支援
新制度



くわしい情報はこちら

文部科学省 高等教育の修学支援
特設HP LINE公式アカウント



「学びたい気持ちを応援します」
(制度全体の概要を確認できます。)

日本学生支援機構
進学資金シミュレーター



「給付奨学金シミュレーション」
(自身が対象となるかななどを
大まかに調べられます。)

支援内容や手続きなどの相談窓口

- 日本学生支援機構 奨学金相談センター
電話:0570-666-301(月~金, 9:00~20:00)
*土日祝日, 年末年始を除く。通話料がかかります。
*給付型奨学金のほか、貸与型奨学金や返還のご相談も可能です。
- 各大学・専門学校等の学生課や奨学金窓口
進学を目指す大学や専門学校の授業料等減免制度については、各学校の学生課や奨学金窓口にご相談してみましょう。

「沖縄県県外進学大学生奨学金」（給付型奨学金）について

沖縄県教育委員会

『県外大学進学を目指したいけど、保護者の負担が・・・』と考えているみなさんへ

沖縄県では、家庭の経済的理由で県外大学進学が困難な方を支援するため、返済不要の給付型奨学金を実施しています。

この奨学金事業は、グローバル社会で活躍できる人材育成を目的としていて、本事業の対象となっている県外大学への進学者が対象となります。

返さなくていい奨学金を利用して県外大学進学にチャレンジ!!

◎沖縄県県外進学大学生奨学金って何？

1. 支援の内容

☆月額奨学金：7万円（年間84万円）

☆入学支度金：30万円以内（入学金・受験費用等の実費額）

☆給付人員：25人以内

☆給付対象：県外対象大学への進学者（35校）※

※詳細は『沖縄県県外進学大学生支援事業』で検索してください。

<https://www.pref.okinawa.jp/kyoiku/edu/1008819/1008843/1008849.html>



2. 応募基準

☆学力基準：高校入学時から出願時までの評定平均が4.0以上

☆家計基準：経済的な理由で県外大学進学が困難な世帯の生徒（4人家族だと概ね年収597万円以下）

☆資質能力：将来、国内外で活動し、沖縄の振興発展に寄与するリーダーとなることが期待できる生徒（要学校長推薦）
なお、卒業後の県内就職は条件としていません。

詳細は『沖縄県県外進学大学生支援事業』で検索してください。

<https://www.pref.okinawa.jp/kyoiku/edu/1008819/1008843/1008849.html>

◎国の修学支援新制度（給付型奨学金）との違い

「国の奨学金」と「県の奨学金」の大きな違いは、【採用人数】【対象大学】【給付額+減免額】です。

【採用人数】

・国の奨学金：制限なし ・県の奨学金：25名以内

【対象大学】

・国の奨学金：ほとんどの国内大学・短期大学・高等専門学校・専門学校
・県の奨学金：対象大学35校

【給付額+減免額（例：国公立大学へ進学、両親・本人・中学生の4人家族）

・国の奨学金：年収によって給付額が変わる

（ここで示す年収は目安です。家族構成などで年収の幅は変わります。）

年収【～270万円】→年間134万円、【～300万円】→年間89万円

【～380万円】→年間45万円、【～640万円】→年間33万円

・県の奨学金：年収に関わらず年間84万円

★年収が300万円を超える場合は、県の奨学金の方が給付額が多い。

◎国と県以外にも奨学金はたくさんある

奨学金にはこの他にも、沖縄県国際交流・人材育成財団、市町村育英会、民間団体等が実施する様々なタイプがあります。（給付型、貸与型（無利息、所得連動返還型）等）

また、大学が独自で奨学金をやっていたり、授業料免除をしていたりもするので、情報収集をして、大学進学を目指してみましょ。

沖縄県は、進学を目指す高校生の 塾の学習費用を支援しています!!



あなたの目標を実現するため、学習塾へ通いませんか？
< 学びたい(^ ^) > その気持ち！応援します！ >

沖縄県では、大学・短大・専門学校などへの進学を希望しているものの、家庭の経済的
事情により学習塾に通うことが困難な高校生に対して、通塾のサポートを行っています。
下記に該当する皆さんは、高校入学後、応募をご検討下さい m(_ _)m

対象生徒

下記のいずれかの世帯の高校生



- ① 児童扶養手当受給世帯
- ② 住民税非課税世帯
- ③ 児童養護施設等に入所している、
または、里親に委託されている

こども家庭課の
ホームページは
こちらから

「子育て総合支援事業」
を検索！



ここがポイント！（^v^）

○このサポート事業を多くの高校生が利用して、
自らの進路目標を実現しています(^ ^) >

< 支援開始からの利用者数 >

平成26年度～令和5年度：2,254名

< 高校3年生の進学率 >

平成26年度～令和5年度：84.1%



○令和5年度に通塾した皆さんからのメッセージ

・通う前よりも勉強時間が増え、塾で予習しておくこと
で授業についていけるようになったことと、苦手だった
教科ができるようになり、自分からやりたいと思える
ようになったのがとても良かったです！

通塾サポートの内容（一例）

○塾に関する費用はすべて無料！

※授業料、教材費、模擬試験、検定試験など
の諸費用を補助します。

※ただし、塾への送迎支援はありません。

☆ **こんな人にオススメ(*´▽`*)** ☆

○高1や高2のときに、漢検・英検などの
検定試験にチャレンジしたい(^ ^) >

○高3では、模擬試験にチャレンジして、
実力養成をはかりたい(^ ^) >

○大学生へ気軽に質問できます！

※大学生（学生フォロー）に分からないところを
質問したり、進路に関する相談ができます。

沖縄県は、県外の大学等へ進学するための 渡航費用（交通費・宿泊費）を支援しています!!

対象生徒

下記のいずれかの世帯の高校生



- ① 児童扶養手当受給世帯
- ② 住民税非課税世帯
- ③ 児童養護施設等に入所している、
または、里親に委託されている

沖縄子どもの未来県民会議の
ホームページはこちらから

「県外大学等進学サポート事業」
を検索！



県立高校では、生徒1人1台端末を活用した学びを推進しています

県立高校においては、1人1台端末環境での学びを継続し、情報活用能力等の向上を図るため、入学後に県が推奨する学習端末（タブレットなど）を保護者負担でご用意いただき、1人1台端末を活用した学びを進めています。

保護者の皆様には、ご負担をおかけすることになりますが、1人1台端末を活用した学びについてご理解いただき、ご協力をお願いいたします。



高校生への支援

① 端末購入補助金（高校1年生のみ）

収入の制限なく、全世帯に対して15,000円の購入補助金があります。

入学後に開設される県指定販売サイトを利用することで15,000円引きで購入できます。

※県指定販売サイト以外での購入に対しても補助を行いますが、別途補助申請を行う必要があります。

② 貸出用端末

全高等学校に貸出用端末が整備されています。各学校で手続きを行うことにより3年間借用できます。※学校の備品となりますので、大切に使いましょう。



①と②に関する情報はこちら

③ 貸与型奨学金（無利子）

（公財）沖縄県国際交流・人材育成財団による貸与型奨学金があります。

端末の購入にも活用できますのでご検討ください。

※ http://www.oihf.or.jp/scholarship/schola_kouiku.html



③に関する情報はこちら